

磐田市市民活動センター

磐田市男女共同参画センター

のっぽ

通信

ともりあ

まちづくりネットワーク

2013
第38号
秋

Duo 心ゆたかな三重奏

2013
第14号
秋

市民活動パネル展

ららぽーと磐田1F磐田市情報館にて8月16日(金)から26日(月)まで開催しました。

さまざまな分野で活動している16団体が参加し、活動内容を紹介しました。今年度は新たな試みとして、見ていただいた方に「イイね!」と思った活動にシールを貼ってもらいました。

どの活動もシールがたくさん貼られ、みなさん色々な活動に興味がある事が分かりました。



今回参加した団体のうち3団体は、情報館内で活動紹介や会員募集などのPRを行いました。

「子どもの健康と環境を考える会」は、紫外線の影響と効果を説明しながら、紫外線に当たると色が変わるUVビーズを使ってプレスレットを作りました。それを屋外に持っていき「色が変わったよ〜」と見せに来てくれた子もいました。



「NPO法人サンサンいわた」は、しっぺいと一緒に撮った写真や自分の気に入っている写真などで缶バッジを作製し、販売しました。しっぺいは子どもたちに大人気でした。



「浜松東年金受給者協会磐田支部」は、パンフレットやチラシを配布し会員募集などをしました。

たくさんの方にご来場いただき、各団体にとってよいPRの場になったと思います。

「ともりあ女性塾」開催しました 備えるカレディ〜GO!(全4回)

女性が知っておきたい防災の知識、
これからの暮らしのヒントを学びました。

6/11 (火) 「目からウロコの備え術!」

県防災士であり磐田市女性防災クラブ連絡会長の木村淑恵さんを第1・3・4回の講師に迎え、女性の視点から日頃の防災の大切さ、震災発生など万一の時に役立つ知恵を学びました。



木村淑恵さんから防災用品の説明

6/18 (火) 「3.11被災地からの声」

NPO法人イコールネット 仙台 宗片恵美子さんからの講話を聴きました。
※詳細はP.4をご覧ください。



被災地の声に聞き入る受講生

6/25 (火) 「バスでGO〜!」

磐田市の公用バスで市内を見学しました。
「福田津波避難タワー」に上り、また防災倉庫にて、発電機、浄水器、投光器の実習を行いました。



手動ポンプ実習

7/2 (火) 「地域に生かす★レディ〜Go!」

AED、人工呼吸等の実習。朗読「女たちが語る大震災」を鑑賞し、被災地の女性の困難を知りました。
※詳細はP.4をご覧ください。



救命実習

みんなの活動応援講座 開催

第2回 8月31日(土) 第3回 9月21日(土)

10:00~12:00 豊田支所 2F 大会議室

講師:プロセスコンサルタント 守本 尚子氏

第2回「助成金獲得! 打率をあげる 申請書作成のコツ」

POINT!

- 募集要項が明確な助成金に応募しよう!
- 助成団体がやって欲しいと“望むこと”を“自分たちならこのように実現できる”という書き方にしよう!

体を動かすと新しい
アイデアが湧いてきます。



形しりとリゲーム

参加者の声

- ・助成する側に立って考えることが大切だと分かった。
- ・申請書の「難しさ」の枠が少しはずれたようだ。 など

第3回「スマートな仲間づくりの合い言葉」

POINT!

- 「一緒にだね!」を合い言葉に仲間と気持ちを共有しよう!
- 仲間の気持ちを知るための場を作ろう!
- 団体の組織図を作り、役割を確認してみよう!

一緒になった時、どんな
気持ちがあったかな?



条件探しゲーム

参加者の声

- ・「一緒にだね」と言える共通の気持ちがあることが本当に大事だと思った。
- ・仲間と適度な距離を保つことが大切だと分かった。 など

最終回の第4回「ムリなく広げるネットワークのキーワード」は、11月30日(土)10:00~12:00に開催します。互いにパワーアップしながら、よりよい関係を作っていく自然なつながり方を体験しましょう。是非ご参加ください。

平成25年度 のっぽ情報交換会

9月18日(水) 19:00~20:30 磐田市豊田支所内のっぽ交流スペース

新規登録団体が増えてきました。今までの団体との交流を兼ね、情報交換会を開催しました。

夜間の開催にも関わらず、たくさんの団体が参加してくれました。

初めにセンターから、昨年度実施した「新しい公共の場づくりモデル事業・市民活動団体調査」の中のアンケート項目「市民活動センターに求めること」について報告を行いました。

情報交換会では「イベントの参加者を増やすにはどうすればよいか?」という質問に「チラシにひと工夫が必要」「ブログやフリーペーパーに載せると効果的」という他団体からのアドバイスなどがありました。

また、団体間で協働し実績を上げて、上手にメディアを活用した貴重な体験談もありました。

センターは、各団体が交流することによって、多くの情報を共有し合い、仲間との楽しい活動を育てていく場所になればと思っています。



次回も開催を予定していますので、皆さん是非ご参加ください。

お知らせ

お問い合わせ・お申し込みは、
磐田市市民活動センターへ

TEL/FAX 0538-36-1890
E-mail: iwata-npo@za.tnc.ne.jp

◆市民活動 フェスタ

日時:平成26年3月23日(日) 13:00~16:45

場所: ^{あい}プラザ(総合健康福祉会館) ふれあい交流室1~3

内容: ①平成25年度磐田市協働のまちづくり提案事業報告会
②パネルディスカッション ③交流会

© 磐田市



その他の情報はセンターのホームページをご覧ください

磐田市市民活動センター

検索

市民活動センター

利用登録団体の活動紹介



フットサルは1チーム5人ででき
気軽に楽しめるスポーツです。

NPO法人 スポーツコミュニティ磐田
ポーラスター

「ナイス、シュート!」コーチの声に子どもたちの歓声が上がります。毎週木曜日、4歳～中学生を対象に「スポーツ交流の里ゆめりあ」でフットサルスクールのチームを指導しています。

永田コーチは「スクールでは試合形式の練習でフットサル技術が上達すると共にサッカー技術も上達する。そして基礎的な体力づくりや生活態度を学ぶ。そんな子どもたちを育成することを目標としています。」さらに、「初めて高校生～社会人チームができ、都合のよい時間に仲間と一緒にボールを蹴ることを楽しんでいます。」とも話していました。

他の市内練習会場では火・金曜日にサッカースクール(男女)や、土・日曜日にはプロサッカーを夢見ている子どもたちがクラブサッカーチーム「磐田北FCポーラスター」として練習しています。(取材)



ゆめりあフットサル場で

設立 平成18年 会員 200人
代表 瀬下 俊久 事務局長 永田 厚
連絡先 磐田市見付2934-1
TEL:0538-84-7484 E-mail info@polarstar.jp

消費研究グループ
いそじ会

「もったいない精神」を大切に、エコ生活や循環型社会をめざし、35年間ゴミ減量について学んでいます。定例会の他に9年前から毎月第3土曜日9:00から10:00まで市役所本庁舎正面玄関前にて、上質紙とトイレトペーパーの交換事業も行っています。

会員が手作りした「環境かるた」は、敬老会や子ども会等に貸し出し、環境についてゲーム感覚で学んでいただいています。

捨てる前にもう一度生かすことを考えて、定例会ではフリーマーケットや牛乳パックで作る鉢カバー等の作品作りを楽しんでいます。(取材)
※定例会:毎月第3金曜日(中泉公民館)



市役所での上質紙回収

会員募集中
(男女共に)

設立 昭和51年
会員 25名
代表 安岡 美恵子
連絡先 磐田市東新町3丁目5-5
TEL:0538-35-8264

もちつもたれつ

やってみよう 地域づくり・まちづくり

前号は、ステップ1「地域の課題を考えよう!」でした。

住みやすい地域づくりを実現していくためには、地域の課題を見出して共有化することが大切です。

その解決策を考えたり、すでに取り組んでいる活動などについて見直したりすることが次の活動につながります。

ステップ2 「協働のパートナーを探そう!」

地域課題を解決していくために、自分たちだけではできないこともあります。

専門的な知識や技術、実施会場・場所、資機材、情報、人材・ボランティア、資金などさまざまなことが考えられます。

パートナーは、行政の場合もありますし、同じ市民活動団体(NPO法人・自治会・地区社協・PTAなど)同士の場合もあります。そして、事業者(企業)とのパートナーシップもあります。

Vol.4 「協働のパートナーは?」

パートナーの得意分野【○=得意】

	自主性	地域性	専門・先駆性	迅速性	公平・公益性	継続性
市民活動団体	○	○	○			
事業者	○		○	○		
行政					○	○
市民(個人)	全ての協働事業に事業に参加することができます。					

「協働の手引き」は、市民活動推進課・市民活動センターにあります。

協働の窓口ですので、お気軽にご相談ください。



男女共同参画センターより

「3.11被災地からの声」～そしてこれから～ 女性の視点での防災

6月18日(火)、女性塾第2回を開催しました。講師に、NPO法人イコールネット仙台代表理事の宗片恵美子さんをお招きしました。

阪神・淡路大震災で女性の問題が明らかになったことで、3.11の震災前から調査を進め「女性の視点からみる防災・災害復興に関する提言」を作成するなど積極的に活動されていた講師の話は、受講生の心に響く内容でした。

DV、セクハラ、性暴力、女性の雇用解雇。避難所支援・訪問から浮かびあがった避難所運営の問題点。仕事に行けない、子育て、介護など、さまざまな女性の困難。これらに対し、女性たちの心の回復に向けた支援活動を展開し「洗濯代行ボランティア」「語り合いサロン」「手づくり品の制作・販売」などを行い、自立に向けて支援した講師の活動事例をお聞きました。

復興計画には男女共同参画の視点が必要であり、「従来の性別役割分業意識を引きずってでは、女性は主体になれない」「リーダー、担当者への女性登用が必要」「女性ネットワークの構築、支えるバックアップを忘れないこと」などを話されました。

講座には、磐田市自主防災会役員、そして磐田市職員も研修のため参加しました。



宗片恵美子講師

「地域に生かす★レディ～Go!」で体験実習

7月2日(火)、女性塾第4回では木村淑恵講師が磐田市消防本部の職員にも参加を要請し、下記の実習を中心とした講義を行いました。

- 住宅火災警報器について………音を聞いてみる、取り付けの大切さ
- AEDの取り扱い方法………助けを呼ぶシミュレーション、取り扱い方法
- 人工呼吸のやり方………実習用マネキン使用、胸部の押し方



実習のようす

受講生の

アンケートより

- ・男女共同参画と防災の関連がこんなにも深く根底の問題なのかと改めて痛感した。
- ・実際に行動し、平常時から参画し話し合いを実践したい。
- ・体験が自分の宝になった。自治会や地域単位で防災を推進していきたい。
- ・学んで終わりではなく、外に発信してみんなで協力していきたい。

「ともりあ女性塾」受講生の声

© 磐田市



人の心は移ろいやすいといえます。あの3・11から2年半になる今、ご多分にもれずあの時の私の緊張感や記憶は日ごとに心のたんすの奥へ奥へとしまわれていくようです。

ある日、「備える力」と題した女性塾へのお誘いをいただきました。惰眠をむさぼる私をゆり起して下さったのです。

講師の方々のお話から、テレビや新聞の報道から伝わってこない震災後生々しい厳しい現実を知り心が震えました。

災害はできる事なら避けて通りたい、されどこの地域のリスクは高い。となるとやはり“備える力”の有無でしょうか。

さあ、私にできることは？

男女の役割分業意識からちょっと踏み出し、周りの人も自分をも守る女性ならではの術を一つ一つ身につけていこうと思う受講後のこの頃です。 江原三重子さん

この講座を受講して、改めて防災、普段からの備えが大事だと実感しました。講師の先生の被災地での生の声やお話。報道されることのないつらい現実を知り胸が痛くなると共にそのような現実があることを知ることができた良い機会でした。

今回、このような素晴らしい講座を受講できたのも、託児をしていただいたおかげです。初めての託児で不安もありましたが、託児の方々もとても親切で親しみやすく、安心して預けることができました。子どもにとっても初めての託児で泣いてばかりでしたが、回を重ねるごとに少しずつ遊べるようになったと言っていたき親としてもうれしく思いました。

またこのような機会があれば是非参加したいと思います。 子育てママより

ともしあ広場でドリームアップ 開催報告

今年度の広場は市民と団体が協力しお互いの知識を「学び合い」「伝え合う」ことを目標に開催しています。前期3回を開催し、多くの方が集いました。

7/9(火)

コミュニケーション術入門&花でうるおう



ともしあスタッフから、初対面の方々
が交流し心を開き合う技を学びました。
また、*JJの会・岩井連美さんが講師
となり、花の癒やし効果の話とアレン
ジメントを実習しました。



8/20(火)

収納力アップ!!



ともしあ利用登録団体「COMPAS」整理収納アドバイザーの
石川ジェインちはるさんから身近な収納の技を楽しく学びました。
①「必要・不要(5秒ルール・2年間ルール)」②「動線」③「測る」
④「戻す」などのキーワードをあげ、わかりやすい講義でした。
定員オーバーの人気の講座となりました。



9/10(火)

すこやかアップ & お茶の話



JJの会・小山米子さんが講師となり、
心と体を健やかに手軽にできるストレッチで汗を流しました。同じくJJの会・
中野寿弥栄さんが講師となり、無農薬の
お茶栽培を通して自然の中で暮らす知恵
の話を伺い、お茶を味わいました。



※JJの会とは・・・ ともしあ女性塾を受講された有志の皆さんが、地域社会で生き生きと活動する女性を目指し、定期的集まって交流し学びを深めている会です。

講師を務めた「女性塾の会」メンバーから

「ともしあ広場“お茶の話”の講師をして」 中野寿弥栄 さん



この度は貴重な機会をいただきありがとうございました。
うれしい緊張感の中、お一人お一人を見ますと、優しい笑顔にて見守ってくださる方、そ
っと手を振り頑張れとエールをくださる方、ウンウンとうなずきにこやかな雰囲気作りをし
てくださる方など、JJの会の仲間の応援や協力の中「食の大切さ」「自然のありがたさ」
を素直な気持ちで体験のお話をする事ができました。幸福な時間を過ごさせていただき
ました。
「ともしあ女性塾」に参加し新しいことをたくさん教えていただき、良き仲間と出会えた
ことで「私の宝」が増えました。誠にありがとうございました。



ヤマハララグビー NEWS

～ホームタウンのラグビーチームとして～

新人ながらレギュラー定着の堀江恭佑選手

スタートダッシュ成功! 上位進出を目指して セカンドステージへ!

～12月は2試合がヤマハスタジアム開催!～

■三村主将コメント

いつもヤマハ発動機ジュビロへのご声援を有難うございます。
9月のナイターゲームにたくさんの方々が応援に駆けつけてくださり、感謝しています。
12月も熱い試合を約束します。応援、よろしくをお願いします。



主将 三村 勇飛丸



普及・地域貢献活動

ヤマハ発動機ジュビロは、地域の子供たちの健康増進と地域の活性化に寄与するため、普及・地域貢献活動を積極的に取り組んでいます。

学校普及

磐田市のホームタウン推進事業として、ヤマハ発動機ジュビロの選手・スタッフが学校を訪問し、ラグビー・タグラグビーを通じて、児童・生徒たちとのふれ合い活動とスポーツの楽しさを伝えています。



地域貢献

地域のイベントに参加し、子供から大人まで多くの皆さんと交流を深め、イベントの盛り上げと地元への誇りの醸成に協力しています。



各活動に訪問・参加した選手たちが出場するホームゲームでの皆さんの熱きご声援よろしくお願ひ致します。

ヤマハララグビーファンクラブのご案内

皆でヤマハスタジアムをブルーに染めましょう!

公式ファンクラブ(年会費2,000円)に入りませんか?公式戦自由席引換券が4枚ついてくる等、大変お得です。試合当日、ヤマハスタジアムに入会受付テントを設置しますので、その場でご入会いただけます。ぜひご利用ください。



会員特典

- オリジナル会員証
 - 公式戦自由席引換券4枚
 - ★ 年会費で割ると1試合分のチケットが500円とお得!
 - 会報誌(年4回)
 - メールマガジン
 - アウェイ戦応援バスツアー
- オリジナルトートバッグ
- チームオリジナルグッズ



問い合わせ ヤマハララグビーファンクラブ事務局 TEL 0538-32-6555

ほくも
ラグビーのお兄さんたちを
応援しているよ!



ラグビーホームゲーム開催日程(ヤマハスタジアム)

2ndステージ ヤマハスタジアム 13:00キックオフ

新しくなった
ヤマハスタジアムで
ラグビーを楽しみましょう!



第3節
2013年 12/14 (土)

第4節
2013年 12/21 (土)

第6節
2014年 1/11 (土)

1stステージの結果により11月初旬決定

※ヤマハ発動機ジュビロ公式サイトでご確認下さい。http://rugby.yamaha-motor.co.jp/

- P 無料駐車場 完備(約1500台分)
- JR磐田駅より 無料シャトルバス 運行します

チケットなどのお問い合わせは ヤマハ発動機株式会社スポーツ推進グループ TEL : 0538-32-1196 [月～金 午前9時～午後5時まで]